

佐賀県の地震活動概況 (2023年5月)

令和5年6月7日
佐賀地方気象台

【5月の地震活動概況】

5月に佐賀県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした(4月は0回)。

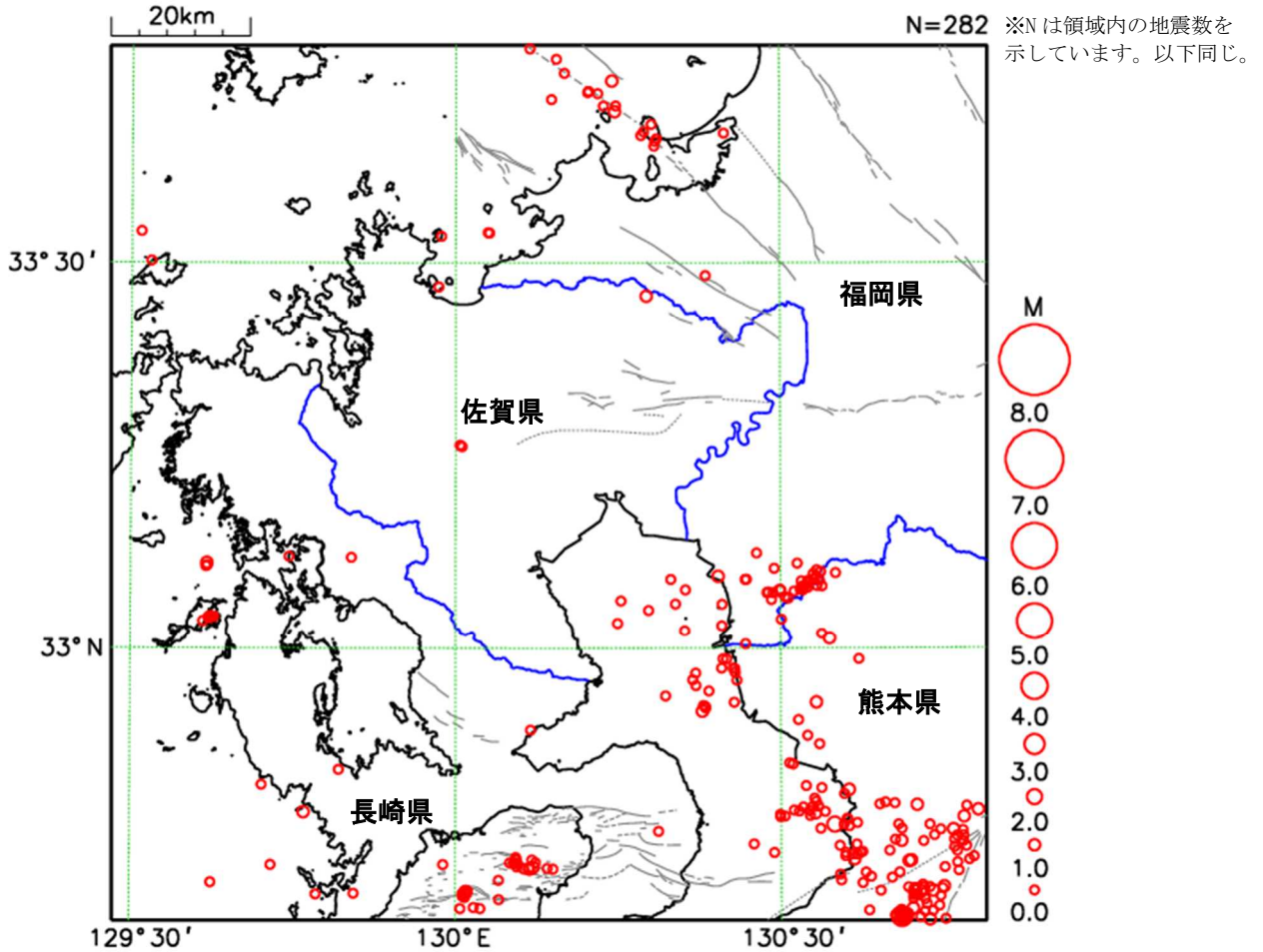


図1 震央分布図 (2023年5月1日~31日、深さ30km以浅、 $M \geq 0.0$)
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

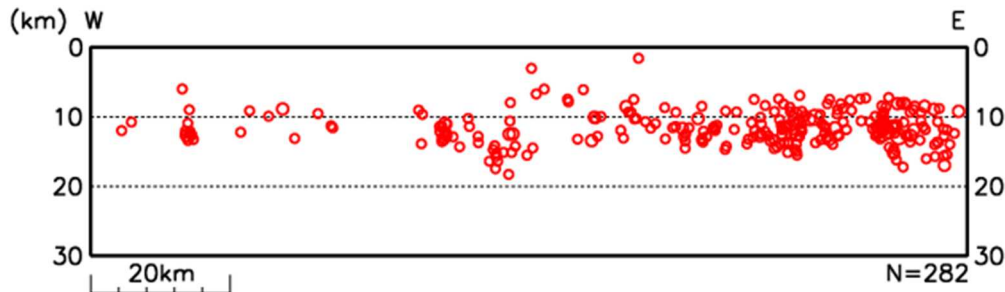


図2 断面図 (2023年5月1日~31日、深さ30km以浅)
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

津波が来るぞ すぐ避難！ -「津波フラッグ」は避難の合図-

「津波フラッグ」は、津波警報等[※]が発表されたことをお知らせする旗です。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。

「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。**海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。**

※ここでは大津波警報、津波警報、津波注意報を津波警報等としています。

津波フラッグは避難の合図

海から離れて
高いところへ!

いつ使われる？
津波警報などの発表時
※大津波警報・津波警報・津波注意報

どこで使われる？
海水浴場など
波音や風で音が聞き取りづらいため、旗で視覚的に伝達

見かけたら？
高いところへにげて!
すぐに海から離れ、高台や津波避難タワーなどへ避難を

監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース

津波フラッグ：長方形を四分分割した、赤と白の格子模様のデザインの旗です。



海岸の避難施設で津波フラッグを振っているイメージ
(公益財団法人 日本ライフセービング協会提供)
注：旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります



唐津港ヨットハーバーに津波フラッグを掲出
(令和3年11月5日 唐津港津波フラッグ訓練より)